

和歌山の留学生

きのくに



- 02 巻頭言 | 「今こそ顔の見える国際交流を」
和歌山県立医科大学 理事長・学長 宮下和久
- 03 寄稿文 | 留学生から
- 「マレーシアはどんな国？」
和歌山工業高等専門学校知能機械工学科3年 ジュンティン（マレーシア）
- 「私の故郷」
和歌山工業高等専門学校電気情報工学科3年 TAMPRASERT NUTTAPAT（タイ）
- 「私の故郷モンゴル」
和歌山工業高等専門学校環境都市工学科3年 インハ（モンゴル）
- 「和歌山に教えてくれた人生」
近畿大学生物理工学部2年 陳 晞暘 チン キョウ（中国）
- 「不便は機会に」
和歌山大学経済学部4年 キム ウンギョン（韓国）
- 「留学生の学び事」
和歌山大学システム工学部4年 ウルジーサイハン ミャグマルダシ（モンゴル）
- 09 寄稿文 | 国際交流を考える
- 「中国へのオンライン留学」
和歌山大学経済学部4年 土肥 由乃（日本）
- 10 留学生との交流行事
- 17 調査と統計
- 和歌山地域の留学生受入状況
和歌山地域留学生の推移
外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果
- 39 協議会事務局より
- 事業報告
要項／申合せ事項

今こそ顔の見える国際交流を

和歌山県立医科大学 理事長・学長 宮下 和久

Covid-19の流行は、今年2022年の秋を迎え、およそ3年の月日が経とうとしています。

この間、本学を含め多くの大学や研究機関では、遠隔講義等の対応で終始した期間でもありました。緊急措置としての遠隔講義はしかし、時が経るにつれて、IT技術の進歩も伴って、今までにない利点、良さが見えてきたことも事実です。

国際交流は、しかし、お互いの対面でのコミュニケーションが原点でありましょう。そういう意味からは、この3年間の期間は、国際交流の真意からすると多大な打撃を受けたこととなります。事実、本学も大学間の交流協定に基づく活動は残念ながらほとんどストップしたままです。そんな中でも、例えば、和歌山県と交流協定を結んでいる山東省の山東大学との交流は、このコロナの流行期間中、相互訪問こそできませんでしたが、webでのシンポジウムや山東大学創立記念行事にはweb参加して、交流をつなげてきました。

この時期、Covid-19流行の第7波がようやく落ち着きを見せ、海外渡航の制限や、帰国後の一定期間の観察機関が撤廃されてきました。今後、国際交流事業も急速に対面交流へと活性化が期待されます。是非とも、コロナ禍でこの間、途絶えたり、疎遠になった関係を修復し、互いの現状を確認しあう中で次なる一歩へと足がかりを模索していきたいものです。

私は、コロナ禍における国際交流活動で気付いたことがあります。先ほど、人と人の対面の交流が国際交流の原点だと述べましたが、コロナ禍であってもweb等で交流を続けることができた機関は一体いくつあったのでしょうか？本学も山東大学を含め数えるほどしか実践できませんでした。

では、web上でも交流を続けられた背景にどんな要因があるのでしょうか？わたしは、最も重要な要素は、お互いに「顔の見える関係」を基盤とした交流ができてきているか、出来ていたかだと思います。本学も紙ベースの協定書を交わしただけの、国際交



流の形態も少なくありません。そういう関係では、このような非常事態では何の交流の機運も力も生まれてきません。相互の機関が、交流テーマの相互理解、相互訪問での教育や研究機会の共有などが日ごろから行われている場合に、非常事態でも交流が可能であるし、恐らくポストコロナ禍においても、速やかに交流再開がなされることでしょう。

国際交流協定を結んでいる、タイ・マヒドン大学とは、私自身研究ベースで20年来の交流を続けています。教員、学生の相互の直接交流はコロナで途絶えていましたが、本学教員が第7波冷めやらぬ2022年9月から半年間の予定でマヒドン大学へ留学致しました。これには形式ばった交流活動ではなく、本学における先方大学院生の博士課程の受け入れ、学位論文テーマに関する両大学間の共同研究、教員相互の訪問、研修などいろいろなフェーズでの交流が基礎となっています。即ち「相互に顔の見える交流」が、コロナ禍の経験を通して、国際交流の原点であることを改めて考えさせられる貴重な機会となりました。

本学は、今後とも協議会の一員として和歌山の国際交流の発展に貢献したいと考えております。和歌山に新設された新しい大学にもご参加いただき、会員の皆様と共に国際交流活動の活性化に取り組んで参りたいと思います。

「マレーシアはどんな国？」

和歌山工業高等専門学校 知能機械工学科 3年

ジュンティン

(マレーシア)

マレーシアは東南アジアの中央部に位置する熱帯の国で、南シナ海をはさんでマレー半島の南半分（マレー半島）とボルネオ島北西海岸地域（サバ州、サラワク州）からなります。マレーシアの行政区画は13の州と3つの連邦直轄領から構成され、11の州はマレー半島に、2つの州はボルネオ島にあります。国土は日本よりややせまく、約5分の4は森林と湿地帯であり、一年中真夏のような気候が特徴です。



pixaboy



外務省 HP

マレーシアでは主な宗教であるイスラム教の教えに則った「ハラール料理」が根付いています。「ハラール」とは「許されたもの」という意味で、野菜・魚・果物・卵・牛乳・イスラム教に定められた方法で処理された肉などが調理に使用されます。豚肉やアルコールは「許されていない」ものであるため、口にできません。マレーシアはマレー系、インド系、中国系など多くの民族で形成された多民族国家です。各民族間の様々な宗教が織り交ざり、食文化においても互いに影響しあいながら独自の発展をしてきました。

マレーシアで有名なスポーツは「セパタクロー」や「バドミントン」です。「セパタクロー」は足を使ったバレーボールのような競技で、マレーシアでは国技として親しまれています。



セパタクロー (いらすとや)

また、国内で特に人気のあるスポーツはバドミントンです。マレーシアに住む人にとって身近な競技であるとともに、有力な選手も多数います。マレーシアのバドミントン選手といえば、真っ先に思い浮かぶのはリー・チョンウェイのではないのでしょうか。彼の過去の主な戦績は'08北京・'12ロンドン・'16リオ五輪銀メダル、全英OP優勝4回('10'11'14'17)、世界選手権準優勝3回('11'13'15)です。多民族国家のマレーシアにおいて、彼のオリンピックでの活躍は、マレーシアを一つ(1 Malaysia)にしたと言われています。

「私の故郷」

和歌山工業高等専門学校 電気情報工学科 3年

TAMPRASERT NUTTAPAT

(タ イ)

私は「スラートターニー」というタイ南部の県に生まれました。「スラートターニー」とは「良い住民の町」という意味です。「スラートターニー」は、東は海、マングローブの森と島々、中央は「ターピー」という川が流れる平地、西は石灰岩の高い山々など、さまざまな地形を持つ県です。一年中インド洋からの南西モンスーン、及びタイランド湾からの北西モンスーンの影響を受けているので、ここでは4月から12月の8ヶ月間に雨がたくさん降ります。そのため、「8か月の雨、4か月の晴れ」と言っています。また、この県では「百の島、おいしいランブータン、大きな貝、赤い卵、仏教の中心」というスローガンがあり、この県がとても個性的であることを表しています。「百の島」とは、海にたくさんある島々、「おいしいランブータン」とはランブータンという果物、「大きな貝」は牡蠣が豊富なこと、「赤い卵」とは塩漬けのアヒルの卵の郷土料理、「仏教の中心」は重要な仏教遺跡を指しています。

様々な地形によって人々の生活も違ってきます。海岸に住んでいる人達に人気のある職業は、牡蠣などの貝類、エビの養殖、漁業などの海産物に関

係する仕事です。魚を捕るために何日も船の上に生活する人もいます。山の近くに住んでいる人々は製油所で働いたりしています。山の大部分は保護地域または石油、天然ガスの採掘に使用されているため、農業はほとんど行われていません。平地に住んでいる人々の大部分は、農業、畜産が主な仕事です。重要な作物はゴムの木、ヤシの木、ランブータン、ドリアンで、主な家畜は豚、鶏、アヒル、ヤギです。毎日収穫して、市場で販売しています。

毎年9月には、「チャック・プラー」というスラートターニー県しかない文化行事が行われます。その行事では、全県のお寺が美しく飾った船を県庁所在地まで牽引して、コンテストを行い、見に来る人からの寄付を受けます。

故郷を離れてしばらく経ちますが、自分の故郷のことは忘れることができず、とても懐かしく感じますので、出来れば、はやく戻りたいと思っています。

「私の故郷モンゴル」

和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 3年

インハ
(モンゴル)

私はモンゴルのヘンティー (khentii) というところに生まれました。ヘンティーはモンゴルの地方にあります。モンゴルには夏、冬、春、秋と4つの季節があります。夏はとても暑くて35度ぐらいになることもあります。冬はとても寒くてマイナス35度になることもあります。温度差がものすごく大きいです。夏の7月から8月の間にはモンゴルのいろいろなところを旅行するモンゴル人や外国人観光者が多くなります。モンゴルの自然の美しさを楽しむことがモンゴル人として最高なことです。冬は寒いですが積もった雪がきれいに見えますし、雨がふった後の雨のおいが今でも心に残っています。



pixaboy

私は子供ころから中学校を卒業するまでヘンティーに住んでいました。この町は人が少なく住民のほとんどがお互いの顔を知っていたといえるぐらいでした。授業が終わった後、友達と公園で遊んだり、お年寄りのおばあさんとおじいさんの家事に助けてあげたりして、安全で楽しい子供時代を過ごしました。そして高校生になってから首都のウ

ランバータルへ引っ越しました。日本の人はモンゴルと聞いたらおそらく馬やゲルやモンゴルの広い田舎の風景などが頭に浮かぶではないでしょうか。しかし、それだけではありません。モンゴル人は昔の伝統的な家に住んだり、馬に乗ったりして生活している人もいますが、日本と同じように高いビルやハイテクノロジーもあります。

モンゴルの伝統的な料理については、多くの人々が祝日にそれらを料理して食べています。私も日本に来てモンゴルの祝日に伝統的な料理を友達と作って食べています。

モンゴルをぜひ訪れてみて下さい。



pixaboy

「和歌山に教えてくれた人生」

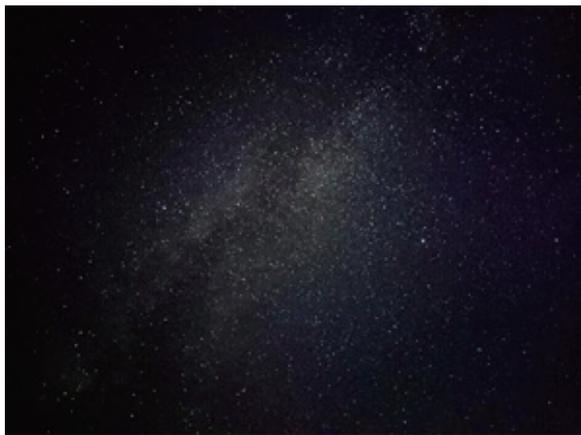
近畿大学 生物理工学部 2年

陳 晞陽

(中国)

ちょうど2年前、私の大学受験時期に、生物先生のお勧めにより、近畿大学生物理工学部を志望しました。そして、一人が荷物いっぱいを持って、高速バス、新幹線と電車の3つの交通機関を通じて和歌山にきました。最初のイメージとしては、和歌山は広々としていて、自然豊かで、海にも近い癒される田舎です。県内には素晴らしい文化財や史跡、山岳、高原、滝、溪谷、海岸などがあります。また、これらが織りなす優れた景観や、そこに生息する生物を保全するため、色々な「国立公園」、「国定公園」と「県立自然公園」があります。

私は、和歌山の一番の魅力であるだと感じているのは、和歌山の星空です。街灯や家の灯りは、ネオンとかが明るすぎると、星空がきれいに見えないですよね。しかし、海に山と河川、自然にあふれる和歌山なら、きっと星空が見られる。



白浜町千畳敷の星空



白浜町三段壁の思考者ベンチ

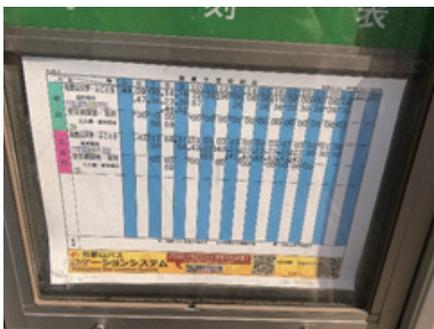
和歌山が私にくれたプレゼントは、人生の生き方に対する考えです。白浜町の千畳敷のような、暗くて、人が少なく、静かな場所で、頭を上げれば、目に入っているのは無限大の宇宙です。我々が住んでいる地球は、砂のように無限大の宇宙の中で寂しくて存在しています。私たちの人生も、宇宙に寂しく存在している地球と同じく、誕生の時には一人で世の中に来て、世を去る時にも一人です。これは、寂しさは人生の実態であると思っています。人生という限られた期間で、どんなことをやれば、世を去る時には後悔しないだろうという謎の質問は、私がよく考えています。しかし、答えがなかなか出られません。限られた期間で、自分の好きなことをやるのは、一番の幸せだと思いました。

「不便は機会に」

和歌山大学 経済学部 4年
キム ウンギョン
(韓国)

私の出身地は韓国の首都であるソウルです。生まれてからずっとソウルに住んでいた私にとって、地方都市である和歌山での生活は正直心配でした。初めての1年はすべての生活が「不便」に感じました。学校までのバスの本数は少なく、一つでも逃したら遅刻を直感しました。和歌山に住んでいるにも関わらず、大阪から通学する友達より早く家を出るのも悔しく感じました。お店なども遠く、交通費も高いため、いつもコンビニで適にご飯を済ませました。韓国で勉強した日本語とは全く異なる和歌山の方言がわからなくてコミュニケーションが取れなかった時もありました。留学生も少なく、悩みの相談ができる友達ができないのも心配でした。

しかし、時間が経ち、私が感じたことは「不便」ではなく、「機会」であったことに気づきました。まず、いつも逃したら遅刻を確定したバスの時間に間に合わせるために、物事を余裕持って準備する準備性を身に着けることができました。せっかくセットした髪の毛をいつも走って崩しましたが、余裕を持つと崩せずゆっくり歩くことができるようになりました。また、お店が遠い分、必要なものは先にメモして忘れず買い物したため、無駄遣いをすることもなくなりました。



1年の時、撮っておいた時刻表

韓国人留学生が少なかった分、県内で韓国人を必要とする仕事に呼ばれることがたくさんありました。

私にとってはかけがえのない貴重な経験となりました。アルバイトとしては母国語の韓国語を教えながら、私自身も和歌山と日本についての理解を深めることができました。和歌山の方々はとても優しく、色々な面で面倒を見てくださり、たくさん助けていただきました。



友達としたおうちこ焼きパーティー



韓国語講師

和歌山での留学生活は、最初は不便を感じたことでしたが、結果的には人間的に一層成長することができた貴重な経験でした。来年の4月からは就職の関係で東京に行く予定ですが、これから会う人々には誇りをもって「和歌山から来ました」と言いたいほど和歌山が大好きになりました。

「留学生の学び事」

和歌山大学 システム工学部 4年

ウルジーサイハン ミヤグマルダシ

(モンゴル)

私の故郷はゴビアルタイという、モンゴルの首都のウランバートル市から1000キロ離れた町です。こんな田舎のほうに育った私は、日本で留学することになり、ウランバートル市にも長住できず、初めて一人暮らしをするようになったのは、和歌山でした。

和歌山に来たのは、勉強するだけではなく、やったことのないことをしたり、行ったことのないところへ行ったり、世界中で認められている日本人から学んだりしてたくさんの経験を集めることでした。そんな色々な思いを持ってきた私にとって、一人で暮らすなんて、夢の形をしていて、やってみたいことがあればなんでもやってみたい気がします。例えば、ここに来たばかりのあの日々に、広い海、綺麗な街並み、礼儀正しい日本人、休みのない電車、どこかへ急いで走っているサラリーマン、いつも家の隣で眠る子猫とか、目に映るすべての物事が以前見たことのないふりをして、まるで異世界に生きてるような感じがしていて、本当楽しかったです。

それに対して、難しいこともたくさんありましたよね。以前、いつも困っているとき両親が支えてくれるからそんなに気にすることが無かったです。今更、トイレトーパーや洗剤などを使い尽くせるものなんだっていうことがわかりました。それでいつの間にか、どうやってお金を正しく使うか、夜はどんなご飯を作るか、明日何時に起きるか、一日の何時間に勉強を進めるかなどを自分で精一杯考えるようになっていました。



和歌山に来たからもう1年半ぐらいになっているが、この短い時間に沢山の思い出を作ったり、多くの学び事もできたと思います。その中、留学生に対してもっとも勉強になっているのは、こうやって独立した生活だと思っています。まだまだ、困難なことややってみたいことがたくさんありますが、それなりに楽しく期待しております。

「中国へのオンライン留学」

和歌山大学 経済学部 4年

土肥 由乃

(日本)

2021年9月から、和歌山大学の交換留学の制度を利用し、中国の山東大学に2学期間オンライン留学をしました。以前大学からの派遣事業で中国を訪れた際、文化的にも経済的にも日本と繋がりが深い国であるにもかかわらず、中国のことを全く理解できていないと感じ、ショックを受けました。そこで、翻訳されたものではなく、本当の中国を直接感じ取ることによって深く知りたいと思い、中国語の勉強を本格的に開始し、中国留学を決めました。本来は渡航予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受けオンラインになりました。最初は受講を悩みましたが、環境を言い訳に勉強を諦めるのは割り切れず、受講を決断しました。振り返ってみると、オンライン留学は私にとって、非常に有意義でした。

開講した当初、授業内容があまり聞き取れず、このままついていけるか不安で、ひたすら予習、復習をし、授業についていくことに必死でした。しかし先生方は、授業中はもちろん、授業外でも疑問点があると、メッセージアプリを通していつでも丁寧に教えてくださり、クラスメイトとは一緒に授業外に課題に取り組み、画面越しにリアルタイムで各国の様子を共有し合えたことで、いつの間にか当初の不安はなくなり、毎日の授業が楽しみになっていました。一番深く心に残っているのは、クラスメイトと一緒に先生に送る卒業の動画を一緒に作成したことです。半年前も試みようとしたのですが、自分の中国語で皆に呼びかける自信を持たず、やらなかったことをずっと後悔していました。しかし最後には、思い出を形に残せてよかったと思うと同時に、自分の語学力も徐々に自信がついてきたのだと感じました。

また、オンライン留学であるからこそ時間も少しで、内閣府の日本・中国青年親善交流事業や、夜



間には中国の別の大学のプログラムに参加するなど、留学以外にも中国に関わる活動ができました。中国の学生と交流する機会も増やしたく、以前日中交流センターで共に活動した中国の友人と、ビデオ通話で定期的にお互いの言語を勉強し合うなど、中国漬けの日々を送ることができていました。

オンライン留学は実際に現地にはいないため、気を抜くと簡単に怠けられると思います。しかし、留学や活動を通して、先生方や、同じような目標をもつ中国、日本、世界の友人と出会えたおかげで、オンライン留学を最後まで楽しくやり遂げることができました。またこの期間、中国の知識を得ただけでなく、日本や、世界の状況を改めて考え直す機会となり、更に学びたいことや、新たな目標も生まれました。もちろん現地でしか得られないものもあると思いますが、オンライン留学だからこそ得られたものが私にはたくさんありました。渡航できないという理由だけで諦めかけていましたが、このような制限された状況の中、オンライン留学の機会を頂けたことは、とても幸運でした。中国への往来はまだ自由にはできませんが、現地で叶えたい目標のために、現在も別の中国の大学でオンライン留学の機会を頂き、引き続き勉学に励んでいます。

令和4年度留学生交流活動行事（事業）

和歌山大学

令和4年 4月	新入留学生オリエンテーション
5月	和歌祭 四百年式年大祭 渡御行列（唐人行列）に参加 多言語サロン 2022 前期
6月	JETRO 和歌山主催 外国人向け「企業との出会いの場」 大阪府立岬高等学校と留学生の交流
8月	第13回留学生による作文コンクール
9月	日本語・日本文化研修留学生 修了式 浙江師範大学オンライン留学説明会 附属中学校3年「英語プロジェクト実習」への留学生派遣 新入留学生オリエンテーション
10月	和歌山キワニスクラブ様 留学生向け炊飯器贈呈式
11月	見学旅行（琵琶湖テラス、ラ・コリーナ近江八幡） 芦原小学校5年交流授業 そば打ち体験 多言語サロン 2022 後期
12月	第20回学長杯「留学生による日本語スピーチコンテスト」



▲和歌祭 四百年式年大祭 渡御行列（唐人行列）に参加



▲多言語サロン 2022 前期

留学生との交流行事

令和4年度留学生交流活動行事（事業）



▲日本語・日本文化研修留学生 修了式



▲見学旅行（琵琶湖テラス、ラ・コリーナ近江八幡）



▲第20回学長杯「留学生による日本語スピーチコンテスト」



▲多言語サロン 2022 後期

和歌山県立医科大学

令和4年 12月 | 山梨大学学術シンポジウム 2022

和歌山工業高等専門学校

令和4年 10月 | 留学生交流行事
(地元の家庭への民泊、SUP、シーグラスボールペン作り、焼杉鉢づくりを体験)



▲SUP 体験

留学生との交流行事

■令和4年度留学生交流活動行事（事業）

和歌山国際ボランティア組織 KNOW

令和4年10月 | 外国人による日本語スピーチ大会



▲外国人による日本語スピーチ大会

国際ソロプチミスト和歌山

令和4年12月 | 留学生とSI 和歌山会員との交流会
(ダイワロイネットホテル和歌山サンクシェールにて食事。その後、和歌山城ホール工房で押し花アート作り、自己紹介)



▲和歌山城ホール屋上にて記念撮影



▲押し花アート作り

公益財団法人 和歌山県国際交流協会

- 令和4年 11月 | 日中交流奨学事業「ちょこっと中国の養生法」
- 12月 | 信愛大学「第3回和信祭」国際交流ブース 出展
留学生が参加し、各国の文化・生活を紹介。
- 「紀州っ子アドベンチャーフェスタ 2022」
わかやま「体験の風をおこそう」運動推進事業～世界の5大陸の国を知ろう～ 開催
留学生が参加し、各国の文化・生活を紹介。



▲日中交流奨学事業「ちょこっと中国の養生法」



▲信愛大学「第3回和信祭」国際交流ブース

NPO 法人 WIN コンコード

通 年	日本社会や文化等の学びを支援 生活関連の情報提供や支援・生活用品の貸与 交流と観光等 ホストファミリーとしての支援 就職活動支援 卒業生との交流
令和4年 5月	新入留学生歓迎会 生活必需品の提供 和歌祭り渡御行列参加支援 留学生スピーチ（第14回NPO法人WINコンコード総会）
6月	マレーシア新入留学生歓迎会
7月	振袖着付写真撮影 着物着付教室と第1回お料理教室（巻きずし）
8月	第2回お料理教室（天ぷら）
10月	後期新入留学生歓迎会（日研生・交換留学生）
11月	大学祭出店支援
12月	八朔狩り 忘年会 丹生都比売神社初詣研修支援
令和5年 1月	初詣 新年会



▲和歌祭



▲四季の里公園



▲丹生都比売神社参拝宮司の講話拝聴



▲振袖体験



▲マレーシア新入留学生歓迎会



▲白浜観光 11月



▲後期新入留学生歓迎会



▲高野山



▲八朔狩り



▲忘年会

和歌山地域の留学生受入状況

令和4年10月1日現在

大学等名 国名(地域)		和歌山大学	和歌山県立医科大学	高野山大学	近畿大学 生物理工学部	和歌山信愛 女子短期大学	和歌山工業 高等専門学校	合計	
		ア	中国	107	4	11	12	-	0
	マレーシア	19	0	0	0	-	3	22	
	韓国	5	0	0	0	-	0	5	
	ベトナム	10	0	1	1	-	0	12	
	インドネシア	2	0	0	0	-	0	2	
	シンガポール	0	0	0	0	-	0	0	
	台湾	4	0	0	2	-	0	6	
ジ	ネパール	0	0	0	0	-	0	0	
	タイ	1	0	0	0	-	1	2	
	フィリピン	0	0	0	0	-	0	0	
	カンボジア	0	0	0	0	-	2	2	
ア	ブラジル	0	0	0	0	-	0	0	
	モンゴル	8	0	0	0	-	4	12	
	ラオス	0	0	0	0	-	0	0	
	インド	2	0	0	0	-	0	2	
	スリランカ	1	0	0	0	-	0	1	
	ミャンマー	1	0	0	0	-	0	1	
オセアニア	ソロモン諸島	1	0	0	0	-	0	1	
欧州	フランス	3	0	0	0	-	0	3	
	イギリス	0	0	0	0	-	0	0	
	ブルガリア	0	0	0	0	-	0	0	
	ベラルーシ	0	0	0	0	-	0	0	
	ハンガリー	0	0	0	0	-	0	0	
	スイス	0	0	0	0	-	0	0	
	ロシア	0	0	0	0	-	0	0	
	タジキスタン	0	0	0	0	-	0	0	
	ウズベキスタン	1	0	0	0	-	0	1	
カザフスタン	0	0	0	0	-	0	0		
アルバニア	0	1	0	0	-	0	1		
中東	トルコ	1	0	0	0	-	0	1	
アフリカ	アルジェリア	1	0	0	0	-	0	1	
	ガボン	0	0	0	0	-	0	0	
	ガーナ	0	0	0	0	-	0	0	
	ウガンダ	0	0	0	0	-	0	0	
	エジプト	1	0	0	0	-	0	1	
	コンゴ	0	1	0	0	-	0	1	
	ナイジェリア	0	1	0	0	-	0	1	
	コートジボワール	0	1	0	0	-	0	1	
北米	アメリカ合衆国	0	0	0	0	-	0	0	
中南米	アルゼンチン	0	0	0	0	-	0	0	
	ブラジル	1	0	0	0	-	0	1	
合計 (23カ国)		169	8	12	15	-	10	214	
留學費用別内訳	国費留学生	14	3	0	0	-	5	22	
	私費留学生	外国政府派遣留学生	16	0	0	0	-	5	21
		交換留学生	26	0	0	0	-	0	26
		県費留学生	0	0	0	0	-	0	0
		上記以外留学生	113	5	12	15	-	0	145
合計		169	8	12	15	-	10	214	

和歌山地域の留学生推移

	全国5/1	県全体 10/1	和歌山大学	和歌山県立 医科大学	高野山大学	和歌山工業 高等専門学 校	近畿大学 生物理工学 部	和歌山信愛 女子短期大学	近畿大学 青鞞短大
平成2年	41,347	36	17	9	6	4			
平成3年	45,066	33	25	3	1	4			
平成4年	48,561	41	29	7	1	4			
平成5年	52,405	55	40	8	3	4			
平成6年	53,787	76	58	9	3	5			1
平成7年	53,847	78	58	9	3	5		2	1
平成8年	52,921	76	59	8	1	6		2	
平成9年	51,047	78	55	12	4	7			
平成10年	51,298	75	53	13	3	6			
平成11年	55,755	86	71	9	1	5			
平成12年	64,011	93	75	12	1	4	1		
平成13年	78,812	103	80	17	2	3	1		
平成14年	95,550	123	96	18	3	4	2		
平成15年	109,508	138	110	18	3	5	2		
平成16年	117,302	173	143	20	3	6	1		
平成17年	121,812	178	147	18	3	9	1		
平成18年	117,927	180	150	16	3	10	1		
平成19年	118,498	170	138	18	1	12	1		
平成20年	123,829	174	140	18	1	14	1		
平成21年	132,720	186	151	15	1	16	3		
平成22年	141,774	180	147	13	1	15	4		
平成23年	138,075	178	151	6	1	16	4		
平成24年	137,756	201	177	13	1	8	2		
平成25年	135,519	215	201	4	0	9	1		
平成26年	※184,155	228	206	8	3	8	3		
平成27年	208,379	207	186	5	3	8	5		
平成28年	239,287	176	150	4	6	8	8		
平成29年	267,042	174	137	7	14	7	9		
平成30年	298,980	204	156	6	26	8	8		
令和元年	312,214	216	171	7	21	9	8		
令和2年	279,597	172	124	8	21	10	9		
令和3年	242,444	200	151	7	17	11	14		
令和4年	未掲載	214	169	8	12	10	15		

※平成26年度より高等教育機関及び日本語教育機関における総数を本調査における留学生数としている。

(独立行政法人日本学生支援機構ホームページ記載 https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/index.html)

外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果

【調査目的】

県内外国人留学生の円滑な受け入れの促進と交流活動の推進を図るため留学生に係る生活面での実態を把握し、和歌山県地域留学生等交流推進協議会での検討資料とする。

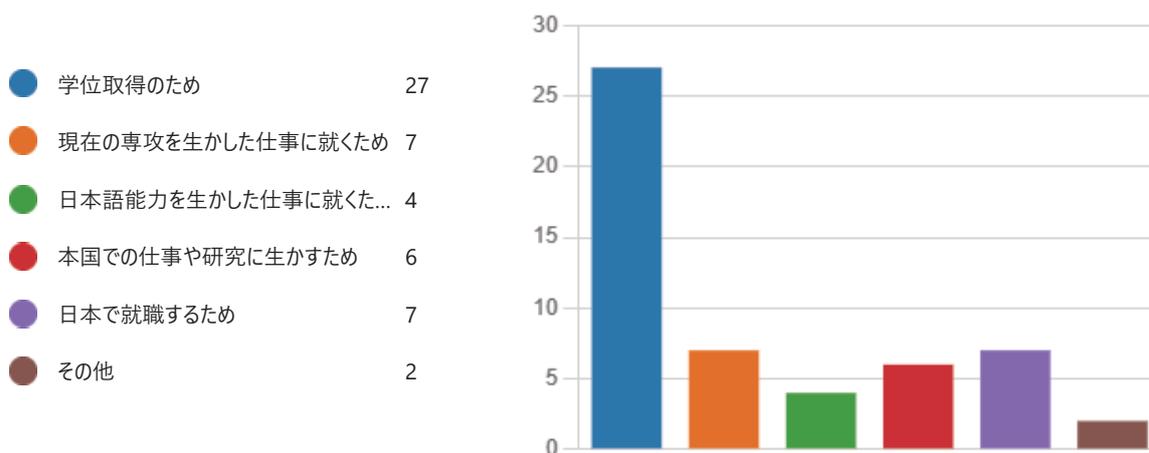
【調査項目】

- | | |
|--------------|--------------------|
| A) 基本的事項について | E) 奨学金・授業料免除について |
| B) 住居・通学について | F) 健康について |
| C) アルバイトについて | G) 和歌山地域住民との交流について |
| D) 生活費について | H) その他 |

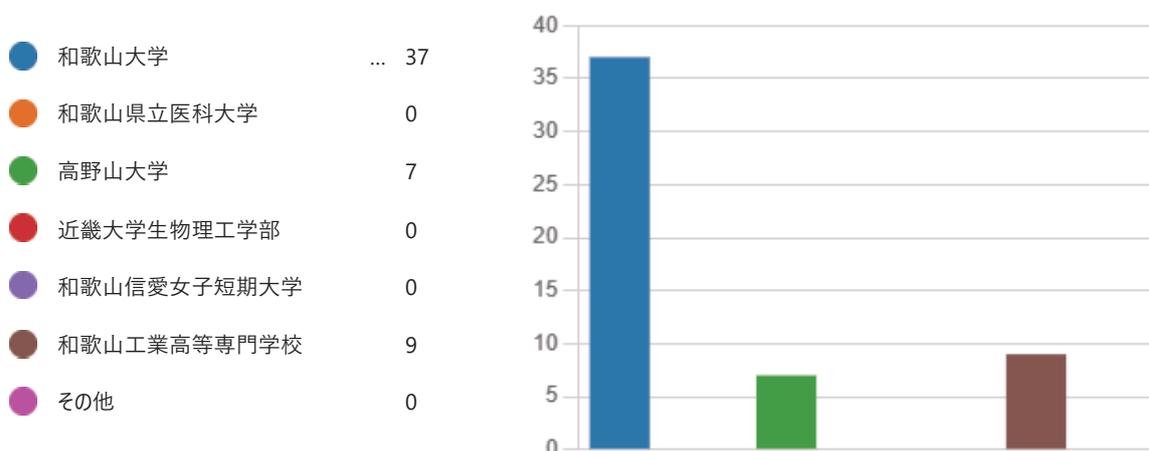
【調査時期】 令和4年

【対象】 和歌山県内の大学、短期大学、高等専門学校在籍の留学生 全 214 名 回答数：53 名

1. A) 基本的事項についてあなたが日本に留学した理由は何ですか。

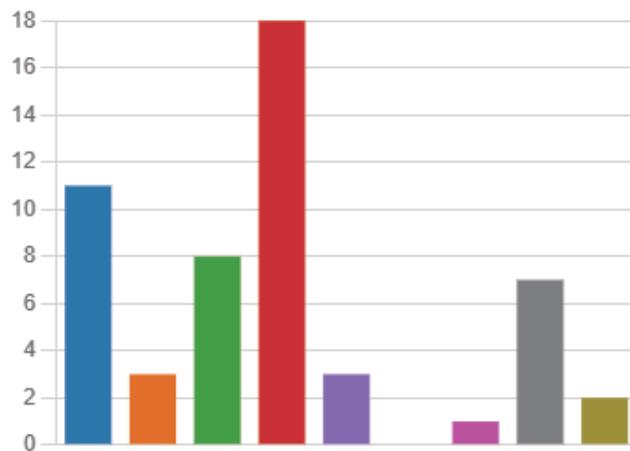


2. あなたの留学している学校はどこですか。



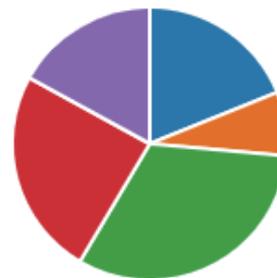
3. あなたが和歌山の今の大学等への留学をきめた理由は何ですか。

● 研究に適した指導教官がいた	11
● 母国の指導教官等にすすめられた	3
● 文部科学省から指定された	8
● 自分の専攻分野が合致した	18
● 大学間交流協定による	3
● 知人がいる	0
● 母国政府の決定による	1
● 和歌山地域の環境がよい	7
● その他	2



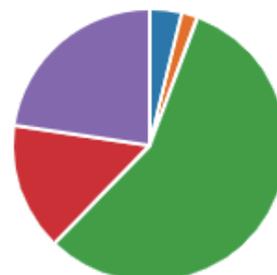
4. あなたは日本に来て何年になりますか。

● 半年未満	10
● 半年～1年未満	4
● 1年～3年未満	17
● 3年～5年未満	13
● 5年以上	9



5. あなたの日本語学習経験は何年になりますか。

● 半年未満	2
● 半年～1年未満	1
● 1年～3年未満	30
● 3年～5年未満	8
● 5年以上	12



6. 日本語能力について（日常会話について）

● わかる	29
● だいたいわかる	23
● あまりわからない	1



7. 日本語能力について（授業を聞くことについて）

● わかる	26
● だいたいわかる	24
● あまりわからない	3



8. 日本語能力について（本を読むことについて）

● わかる	27
● だいたいわかる	22
● あまりわからない	4

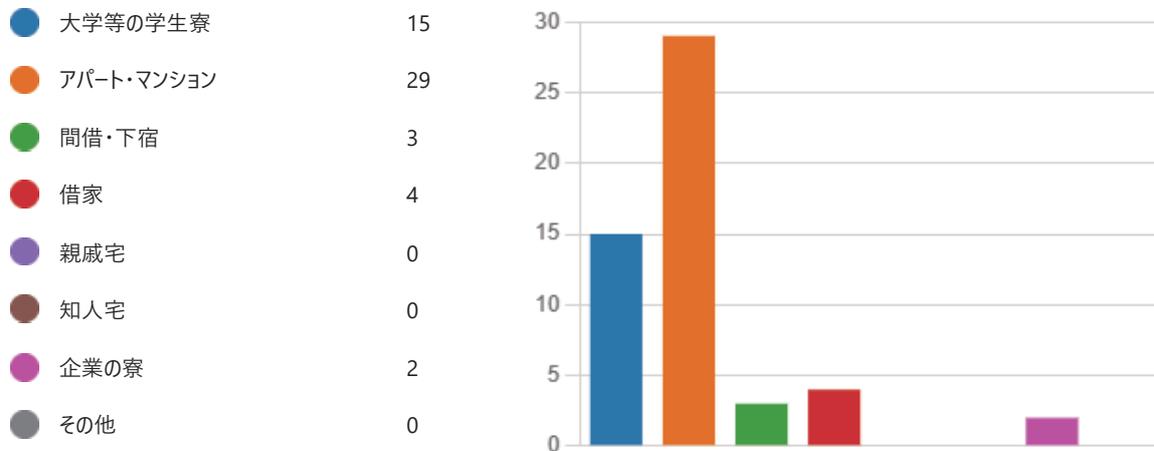


9. 日本語能力について（論文等を書くことについて）

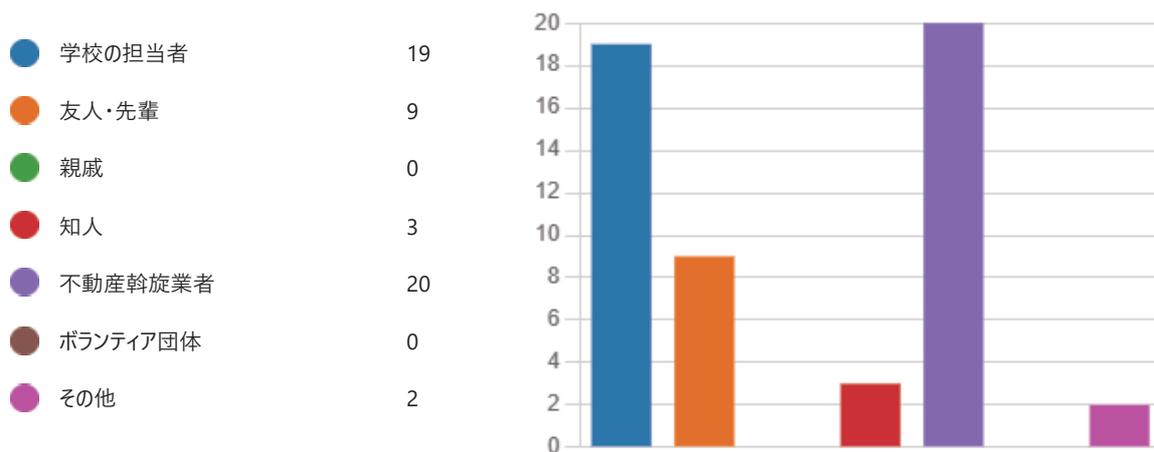
● わかる	18
● だいたいわかる	25
● あまりわからない	10



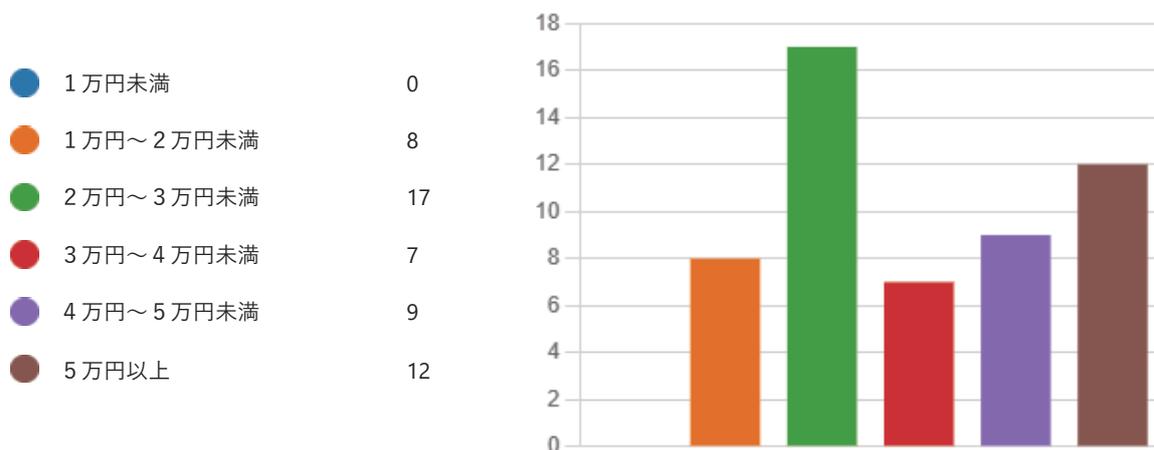
10. B) 住居・通学について 現在の住居の種別はどれですか。



11. 現在の住居は、だれ（どこ）の紹介でみつめましたか。



12. 1か月当たりの住居の家賃はいくらですか。



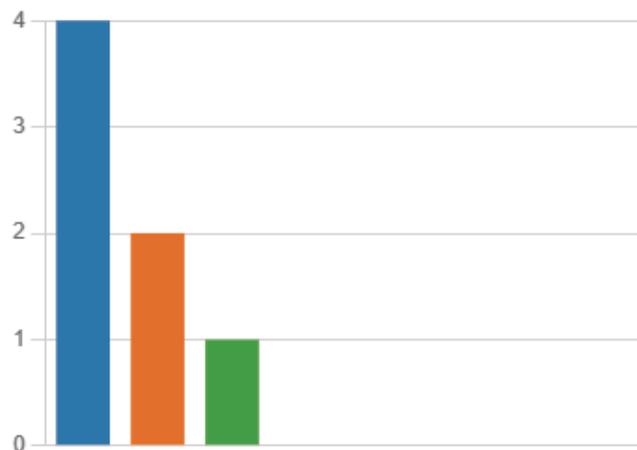
13. 現在の住居についてどう思いますか。

● 満足	30
● 普通	18
● 不満	5



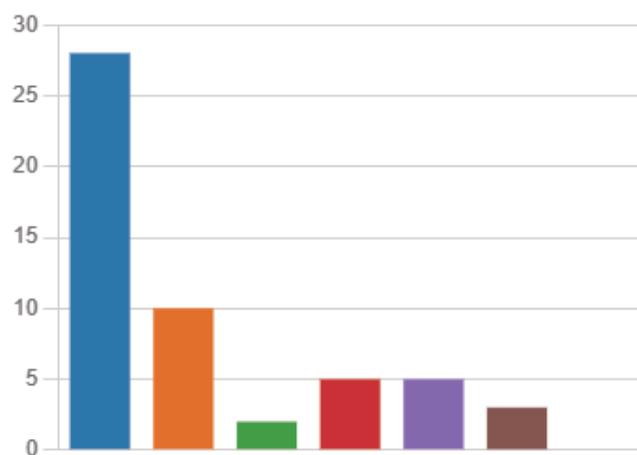
14. 問13で「不満足である」と答えた人は、その理由を次の中から一つ選んで下さい。

● 部屋代・下宿代が高い	4
● 部屋が狭い・汚い	2
● 通学に不便	1
● 設備が不満	0
● 一緒に住んでいる人との人間関係...	0
● 家主・管理人との人間関係が好ま...	0
● 周囲の環境が悪い	0
● プライバシーが保ちにくい	0

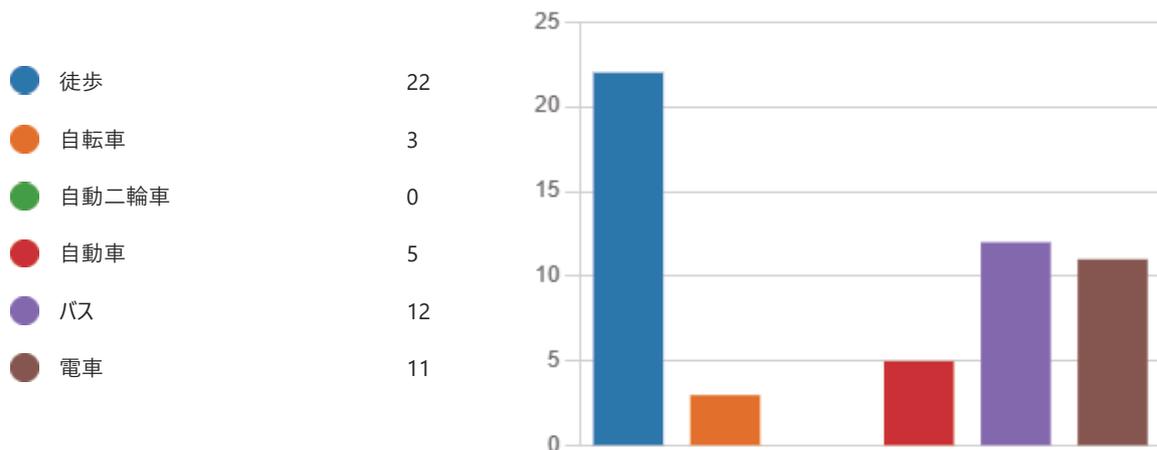


15. 片道の通学時間はどの位ですか。

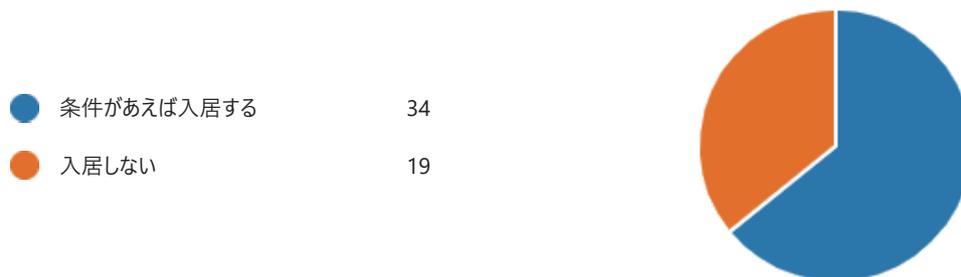
● 15分以内	28
● 30分以内	10
● 45分以内	2
● 1時間以内	5
● 1時間30分以内	5
● 2時間以内	3
● 2時間以上	0



16. 主な通学方法はどれですか。

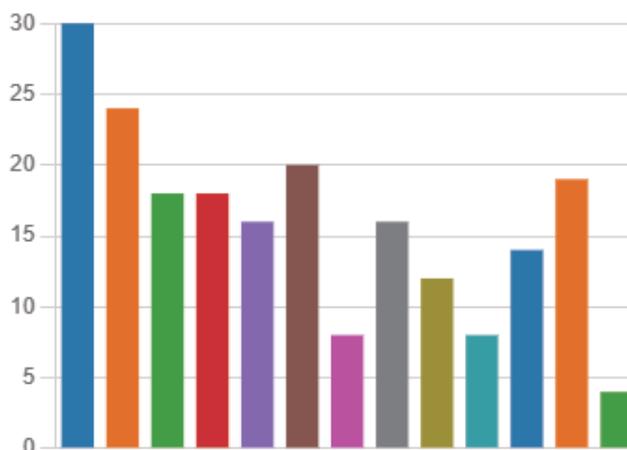


17. 和歌山地域留学生等交流推進協議会では、企業の寮などを留学生のための住居として貸与するように県内の企業に呼びかけたいと考えていますが、このような住居の提供があった場合、あなたは入居しますか。



18. [問17で「条件があれば入居する」と答えた人に。]その条件とはどのようなことですか。（複数回答可）

● 家賃や敷金・礼金が安いこと	30
● 個室であること	24
● 共同浴室でないこと	18
● シャワーがあること	18
● トイレが洋式であること	16
● 自炊ができること	20
● 外食であること	8
● 部屋が広いこと	16
● 寮での共同作業等を強制しないこと	12
● 留学生が複数入居していること	8
● 門限等、使用上のルールが厳しくな...	14
● 周囲の環境が良いこと	19
● その他	4



19. 問17で「入居しない」と答えた人に。]その理由は何ですか？

15
応答

- ・大阪に住みたい（3件）
- ・現在のところまま満足しているので入居しないと思います
- ・ My current residence is fine for me, it is convenient and near the university.
- ・今の住居はいいです
- ・もうすぐ卒業しますので、引越したくない
- ・1年間のことで、在留カードとかの資料に今住んでいる寮の住所を変えたくないです。
- ・寮に住んで満足している
- ・団体生活に慣れていません
- ・自分のアパートにもう満足しているからです。
- ・企業の寮について、自宅と違う面倒なこと発生する可能性があります。
- ・今の部屋はいいです
- ・アパートが古い
- ・なんとなく

20. C) アルバイトについて あなたはアルバイトをしていますか。

● 現在している	19
● 以前したことがある	11
● したことがないが、さがしている	5
● したことがない	18



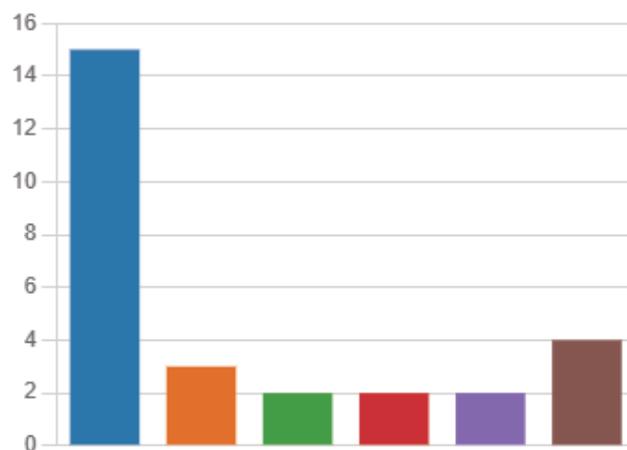
21. 一定の時間を越えてアルバイトする時は許可をえなければならないことや、種類によっては、してはいけないアルバイトがあることを知っていますか。

● 知っている	44
● 知らない	9

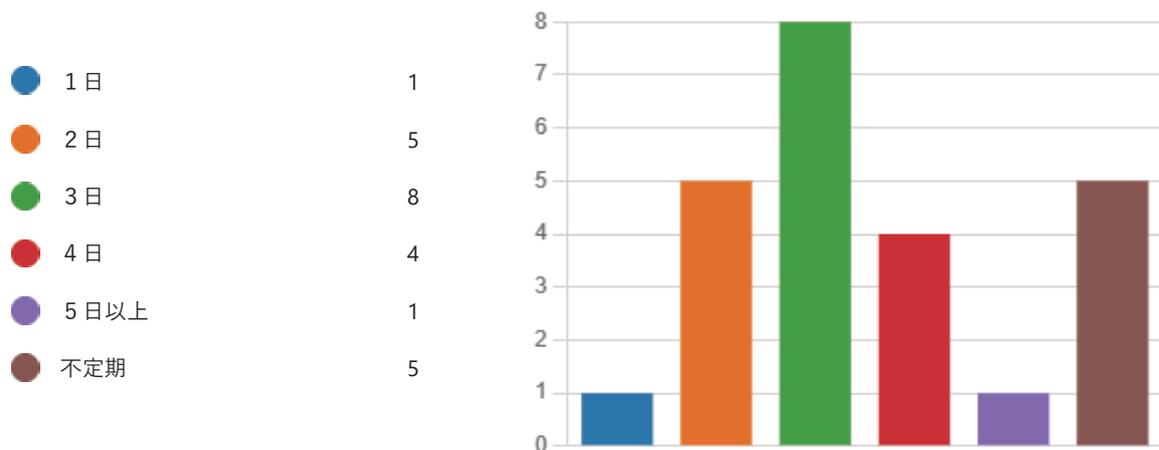


22. [アルバイトをしている人に。]どんな職種のアルバイトですか。

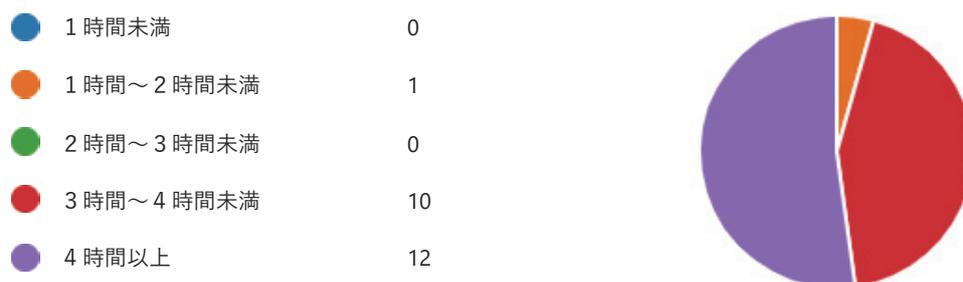
● 飲食業	15
● 語学教師, 通訳, 翻訳等	3
● 一般事務	2
● 技術関連事務	2
● 軽労働作業	2
● その他	4



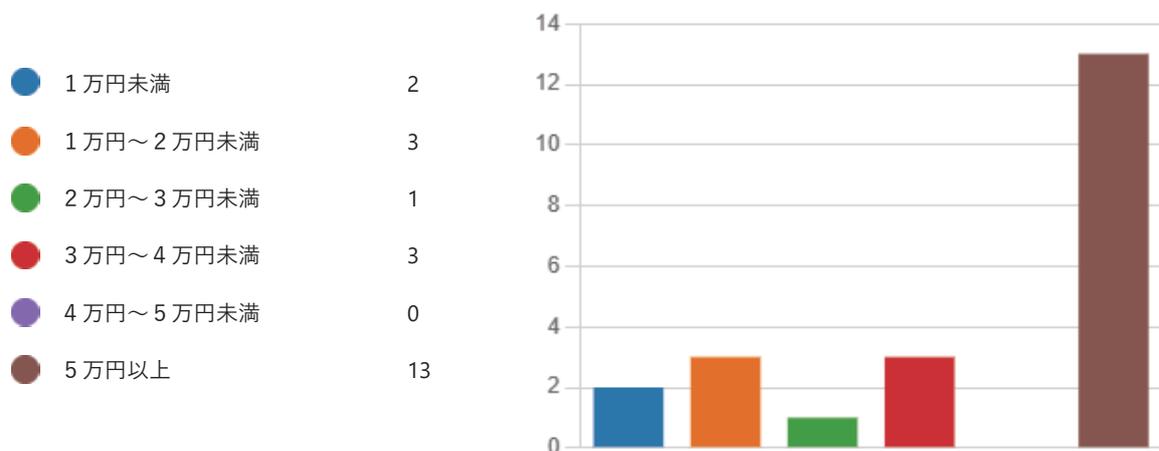
23.〔アルバイトをしている人に。〕1週間のアルバイト日数は何日ですか。



24.〔アルバイトをしている人に。〕1日のアルバイト時間は何時間ですか。



25.〔アルバイトをしている人に。〕あなたが最近1か月間でアルバイトで得た収入はおよそ何万円位ですか。



26. [アルバイトをしている人に。]アルバイトをしている理由は何ですか。

● アルバイトをしなければ生活ができない	5
● 将来または突然の出費に備えて	2
● 社会勉強の一環として	11
● 生活にゆとりが欲しい（旅行、買い...	3
● その他	1



27. [アルバイトをしている人に。]アルバイトの時に何か困ったことがありましたか。

13
応答

- ・アルバイトまで行くためのバス料金
- ・敬語は難しいです
- ・外国人向けの仕事が少ない
- ・アルバイトをしても、自分の時間をバイトの時間に譲るしかない
- ・学校で通用している言語は職場に通用していない、さらに職場には高度な日本語が身につけなければ寂しくてなる。
- ・このアルバイトの経験は職場に活かすことできない
- ・日本語のお喋りが難しいです。
- ・特になし（6件）

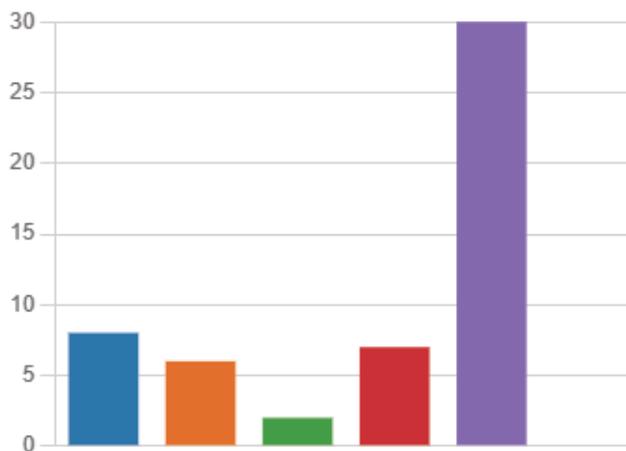
28. [アルバイトをしていない人に。]アルバイトをしていない理由は何ですか。

● アルバイトをしなくても生活ができる	7
● 自分に適した職種が見つからなかった	6
● やりたいが時間的余裕がない	7
● アルバイトが見つからない	1
● その他	0



29. D) 生活費について あなたの留学経費は主として何によって得ていますか。

● 日本国政府負担	8
● 自国政府負担	6
● その他の奨学金	2
● 自己負担（アルバイト等）	7
● 家族からの送金	30
● その他	0



30. あなたの1か月の平均収入はどれくらいですか。

● 5万円未満	9
● 5万円～10万円未満	20
● 10万円～15万円未満	20
● 15万円～20万円未満	4
● 20万円以上	0

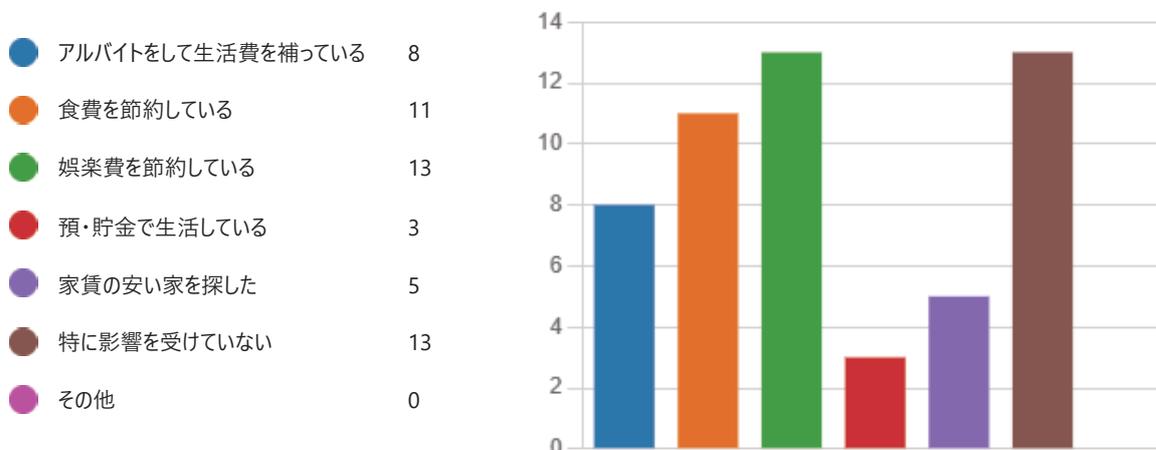


31. あなたの1か月の平均支出はどれくらいですか。

● 5万円未満	5
● 5万円～10万円未満	34
● 10万円～15万円未満	10
● 15万円～20万円未満	4
● 20万円以上	0



32. 日本で生活するにあたり、あなたは何か工夫していることはありますか？



33. E) 奨学金・授業料免除についてあなたは、現在奨学金を受けていますか。

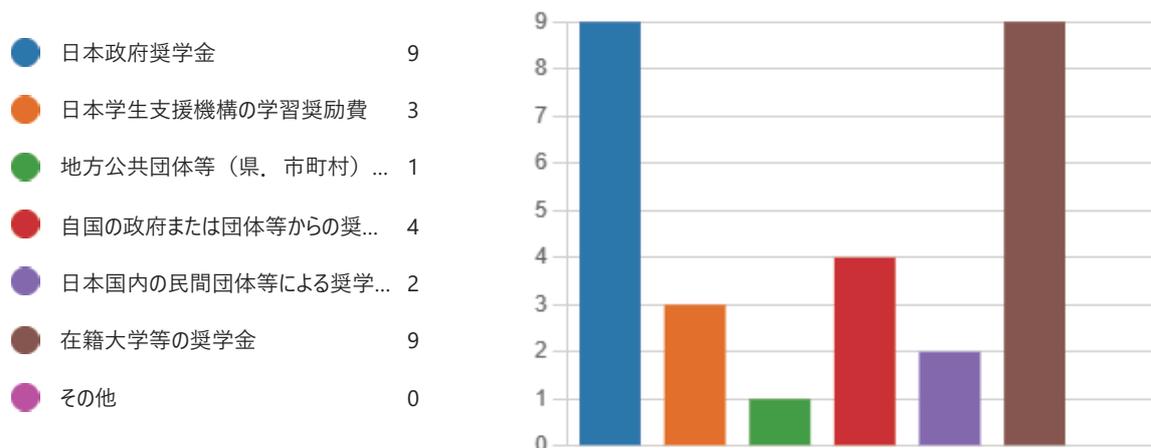


34. [奨学金を受けている人に。]奨学金の額は1か月いくらですか。

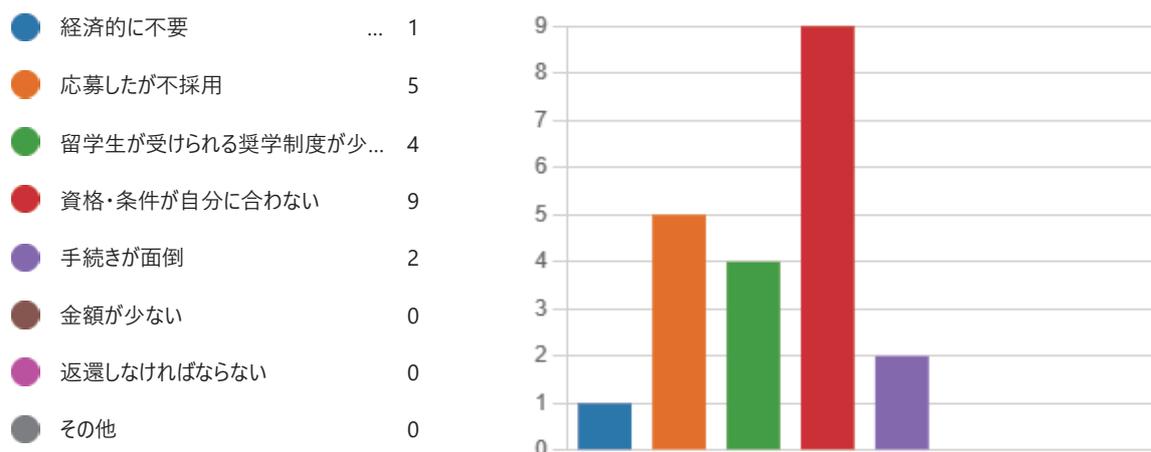
25
応答

平均 78,226 円

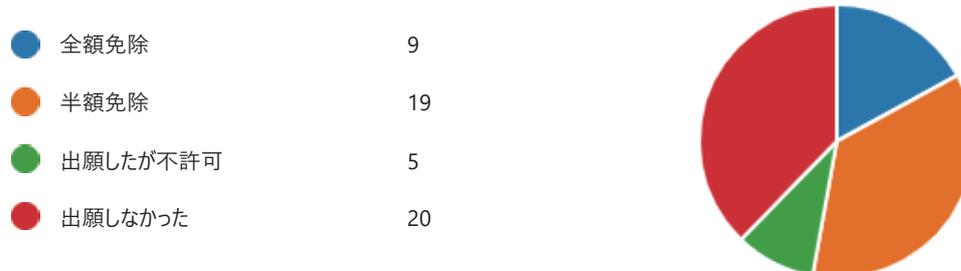
35. 〔奨学金を受けている人に。〕奨学金の種類は、次のどれですか。



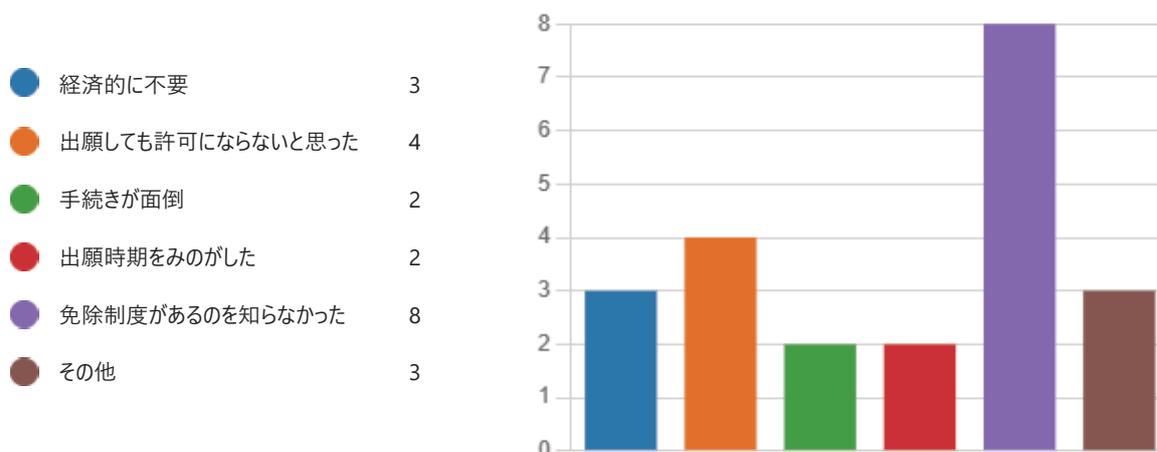
36. 〔奨学金を受けていない人に。〕奨学金を受けていない理由は何ですか。



37. あなたは授業料免除（今年度前期分）をうけましたか。



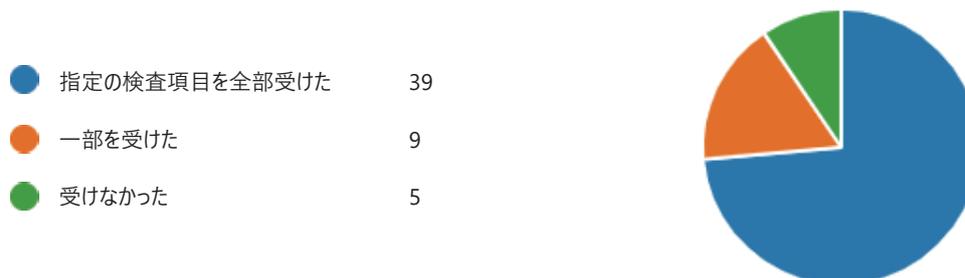
38. [授業料免除を出願しなかった人に。]免除を出願しなかった理由は何ですか。



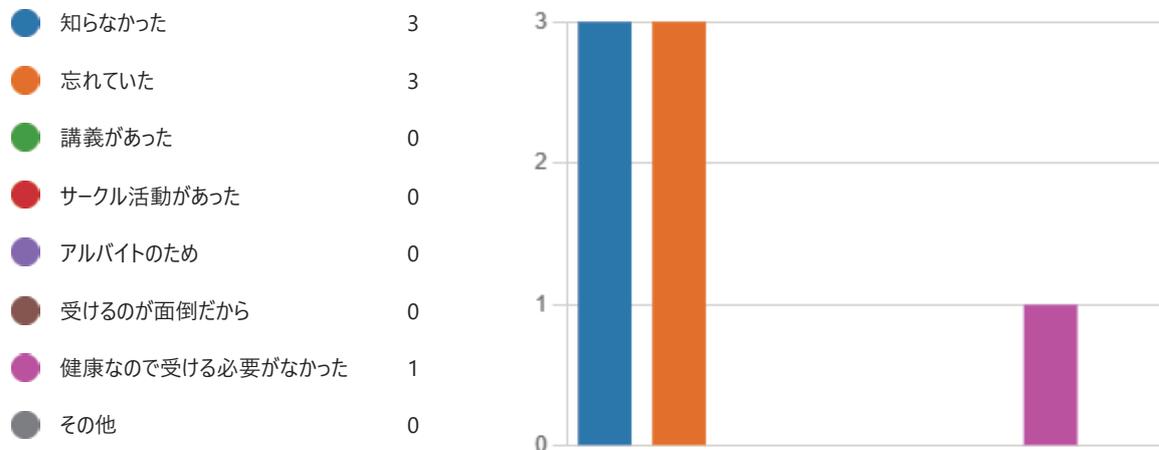
39. F) 健康について 現在、あなたの健康状態はどうか。



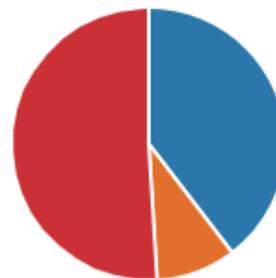
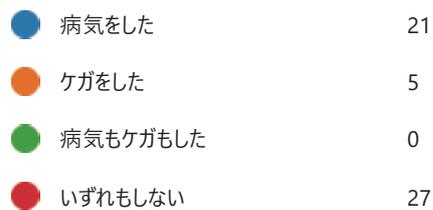
40. あなたは大学等が実施する定期健康診断を受けましたか



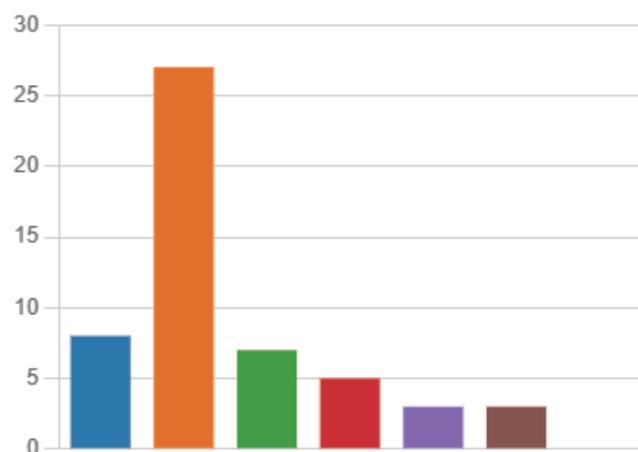
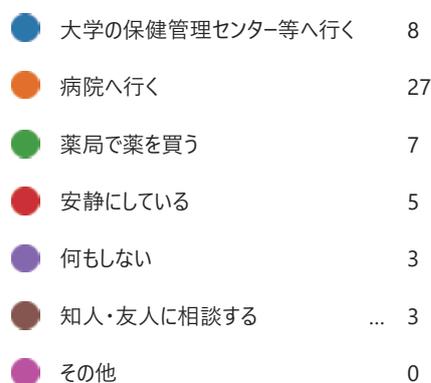
41.〔定期健康診断を受けなかった人に。〕定期健康診断を受けなかった理由は何ですか。



42. 過去 1 年間に病気やケガなどをしましたか。



43. 体の具合が悪くなったとき、あなたはどのように対処しますか。



44. G) 和歌山地域住民との交流についてあなたは、和歌山地域住民との交流の会に参加したことがありますか？

● ある	10
● ない	43



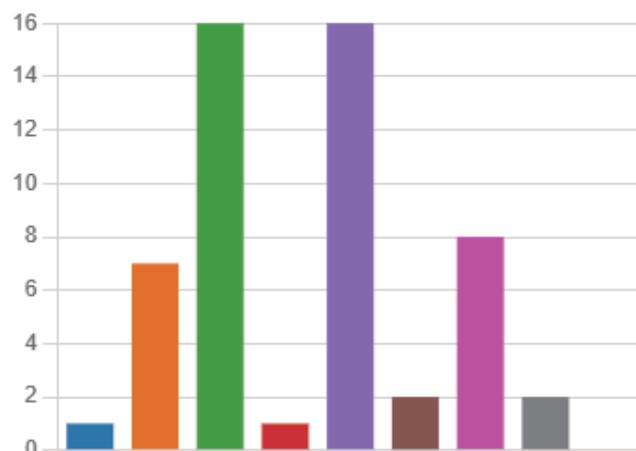
45. あなたは和歌山地域住民との交流の会についてどう考えていますか。

● 積極的に参加したい	13
● 都合がつけば参加したい	34
● 参加したくない	6



46. あなたは和歌山地域住民と今後どのような交流を希望しますか。

● 地域住民との討論会	1
● スポーツや文化交流	7
● 地域の祭り等の行事への参加	16
● 県内産業・工場等の見学	1
● 旅行	16
● 懇親会・交流会	2
● ボランティア活動	8
● 料理講習会	2
● その他	0



47. あなたはホームステイ，ホームビジットの機会があった場合参加しますか。

● 参加する	38
● 参加しない	15



48. 帰国後の交流について希望しますか。

● 希望する	42
● 希望しない	11



49. 帰国後の交流で希望すること。

● ホームステイ交流	15
● スポーツ・文化交流	17
● 学術交流	10
● 貿易	10
● その他	1

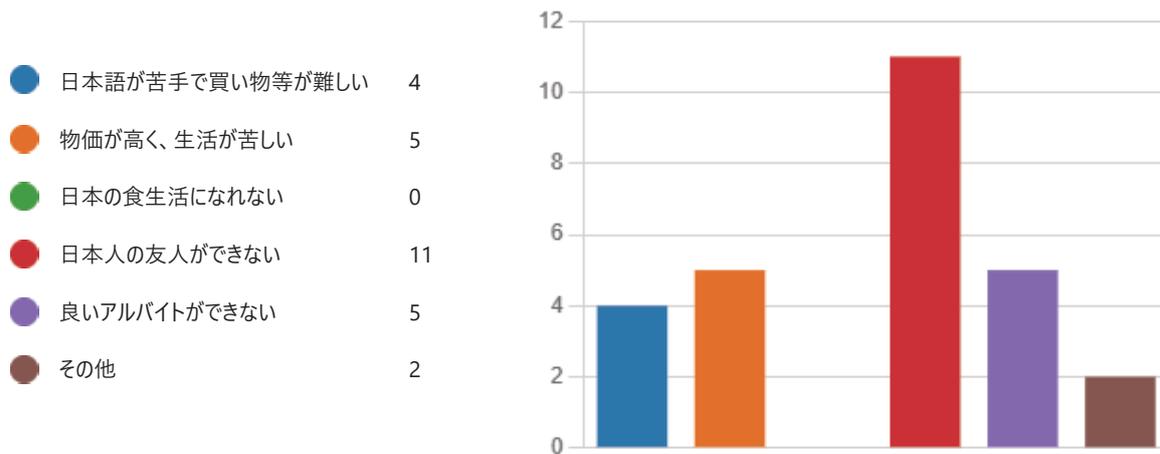


50. H) その他 日本で生活するうえで，困ったことがありましたか。

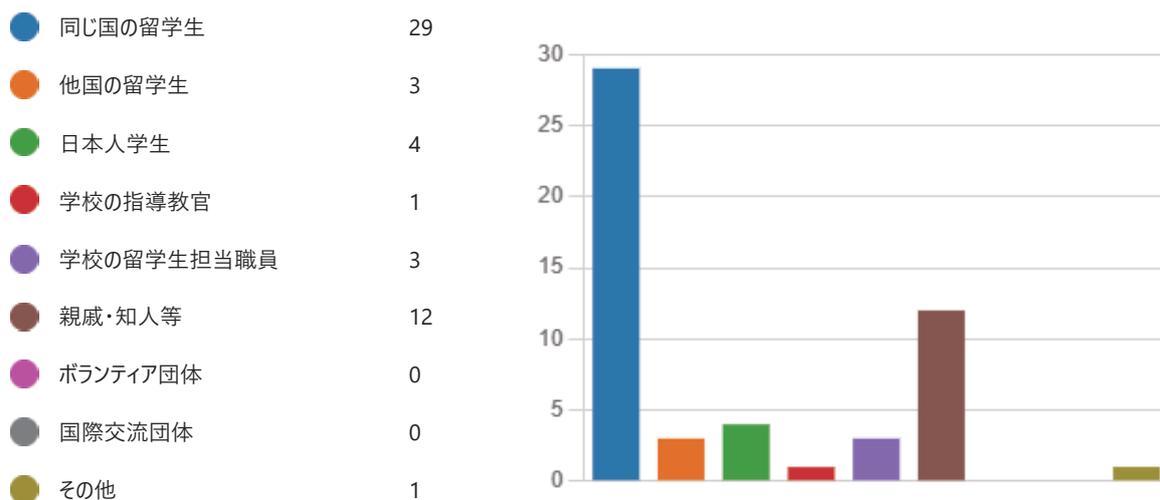
● ある	25
● ない	28



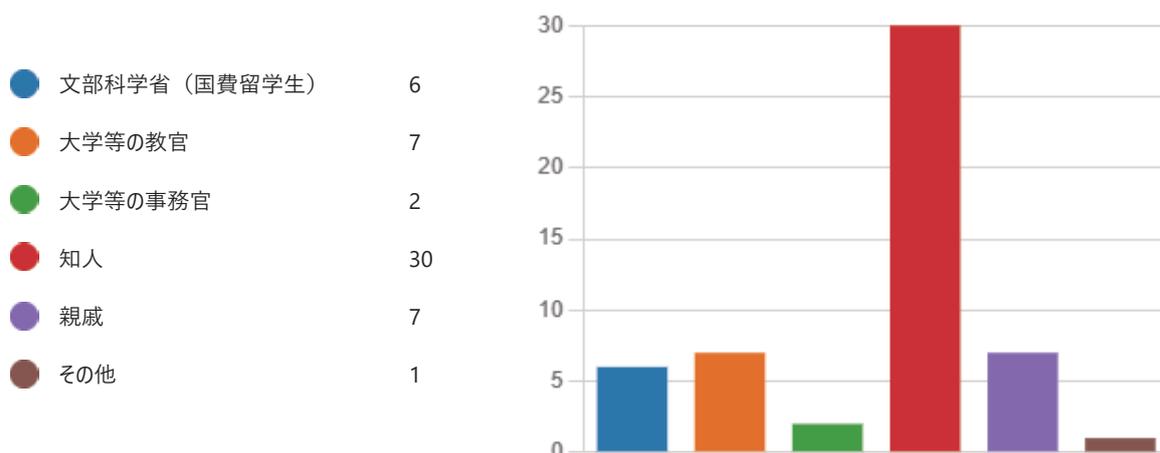
51. 〔問50で困ったことがあったと答えた人に。〕困ったことは次のどれですか。



52. 困ったときに相談する人は、次のどなたですか。



53. あなたの大学等における身元保証人はどなたですか。



54. 身元保証人を見つける時に、どんな困難がありましたか。

17
応答

- ・知人の理解
- ・特になし（16件）

55. 学校の事務サービスについて、どんなことを希望しますか。

53
応答

- ・和歌山大学内の諸分野の学術交流
- ・もっと留学生を重視してほしい
- ・通学バスを多くしたい
- ・もっと広い部屋を希望します
- ・学術についてのサポート
- ・留学生サービス
- ・時々、困難があったら、どこへ手伝ってくれるか、分からない。
- ・特になし（46件）

56. 留学生として、地域や大学にどんなことを望みますか。また、和歌山に滞在しての感想、意見を自由に記入してください。

53

応答

- ・ 和歌山県内大学間の学術交流
- ・ 色々な地域の人と交流したり日本の文化を経験したりできれば嬉しいと思います
- ・ 交通費ちょっと高い
- ・ Hopefully there would be more opportunities for international students to interact with local students.
- ・ 和歌山はすみやすいところと思います。都市より静かで、生活リズムが遅くて、心が落ち着けます。また、今まで和歌山に出会った人々が優しいと思います
- ・ 和歌山の景色はとてもきれい
- ・ 自然環境が良いだけども、交通不便なところがよくある。
- ・ 和歌山はもっと活力にあふれることが欲しいです。駅前の商店街ほとんど閉店したから、駅に出て見るとこの町ヤバイとすぐ感じられます。
- ・ 和歌山の文化を学び、中国の文化を皆様にお届けできればと思います。
- ・ 和歌山は国の町と違って、緑が多くて静かで大好きです。朝青空と夜星が見えて嬉しいです。大学の近くに住んでいるからスーパーとかちょっと遠いですが、今自転車を持っているから全然構いません。
- ・ 寮でダイニングルームという共有場所はあって欲しいです。部屋はちょっと狭いから、たくさん友達と一緒に食べたい時、ちょっと不便で、味も部屋の中に残っているからちょっと嫌いなあとと思います。和歌山は結構きれいな場所ですが、住んでいる御坊市はちょっと不便と思います。寮の近くはスーパーはなくて、買い物はいつもバスで乗らなければなりません。
- ・ 和歌山県は車社会なので、移動するのを電車やバスでないとなかなか大変です。自然が豊かである和歌山の車しか行けない所に連れて行けば嬉しいです
- ・ 和歌山の人々はとてもフレンドリーで親切なので、すぐに和歌山での生活に慣れました
- ・ 素晴らしいところです
- ・ 高野町からいろいろな緊急助成金をもらったことはここから大変感謝します。
- ・ 留学生と日本人と一緒に遊ぶ活動が有ればいい
- ・ 和歌山が大好き
- ・ 和歌山は住みやすいです
- ・ 最初に和歌山に来たとき、生活として、良いところだと思います。しかし、近年、経済不況になった感があります。近くの商店街も、スーパーも、閉店することがあります。「生きる」の感覚はどんどん減っています。
- ・ 日本人との交流機会かなり少なく、結局異国の友人ができず同じ出身の友達ができた。コロナの影響もあり、価値観の相違大きい理由もあり、大学の先生に大変お世話になっていた、和歌山大学への留学は後悔していないけど、日本の来るタイミングが非常に悪いと気付いた。
- ・ 日本人の友達ができれば完璧な大学生活でした
- ・ 日本人と大学サークルを紹介する。
- ・ 地域の人との接触を増やしてほしい。特に和歌山の農業、漁業がいっぱいアピールできる魅力を持っている。また子供を中心として学校のボランティア活動もほしい。それらでイベントを展開して、留学生は和歌山での体験が豊かなになる
- ・ 和歌山のイメージは商店街の人が少ないでした
- ・ 和歌山が綺麗です
- ・ 和歌山の環境が好きです。
- ・ 勉強気分のいい学校
- ・ 和歌山に自然が豊かで、勉強する雰囲気凄く良いである。
- ・ コスト
- ・ ムスリムの留学生としてもっとハラルたべものをうってほしいです
- ・ 交通不便で多くの学生は大阪に引っ越しました。どうせ同じような時間かかるなら、大阪の方がいいと思うから
- ・ 無事に卒業できますように。本気で能力を伸ばし、日本で就職することが成功するように。
- ・ 特になし (21件)

■事業報告

令和3年度和歌山地域留学生等交流推進協議会（総会）及び運営委員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止とした。

但し、広報誌「きのくに」は例年どおり、第32号を発行し、ホームページへ掲載した。巻頭言は、和歌山大学伊東千尋学長に協力いただき、学生の寄稿文及び各種調査統計についても、当協議会所属団体のご協力を得て、結果を掲載した。

■和歌山地域留学生等交流推進協議会要項

（趣旨及び目的）

第1 和歌山県内における外国人留学生等の円滑な受け入れの促進及び地域との交流活動の推進を図るとともに、地域住民の国際理解の増進に寄与するため、和歌山地域留学生等交流推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（事業）

第2 協議会は、第1に掲げる目的を達成するため、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 留学生の受入れの推進
- (2) 留学生の勉学条件及び生活環境の整備
- (3) 留学生と地域住民との交流の推進
- (4) 地域住民に対する啓発
- (5) その他協議会の目的達成に必要な事業

（組織）

第3 協議会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 和歌山県内の高等教育機関、国の機関、地方公共団体、経済団体及び留学生国際交流関係団体
のうちの関係機関 団体の長又は代表者 各1名
- (2) 学識経験者若干名
- 2 前項の委員は、議長が委嘱する。
- 3 第1項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

（議長）

第4 協議会に議長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 議長は、協議会を招集する。
- 3 議長の任期は、4月1日より2年間とし、再任を妨げない。

（委員以外の者の出席）

第5 議長が必要と認めるときは、委員以外の者を協議会に出席させることができる。

（運営委員会）

第6 協議会の円滑な運営を図るため、協議会の下に和歌山地域留学生等交流推進協議会運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

- 2 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) 第3の第1項第1号に定める機関 団体から推薦された実務担当責任者各1名
 - (2) その他協議会が必要と認めた者 若干名
- 3 前項の委員は、協議会議長が委嘱する。
- 4 第2項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 5 運営委員会に委員長を置き、協議会議長が指名する者をもって充てる。
- 6 委員長の任期は、4月1日より2年間とし、再任を妨げない。

(事 務)

第7 協議会及び運営委員会の事務は、国立大学もしくは地方公共団体等が担当する。

(雑 則)

第8 この要項に定めるもののほか、協議会及び運営委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成2年2月13日から施行する。

附 則

この改正要項は、平成13年4月1日から施行する。

■和歌山地域留学生等交流推進協議会に関する申合せ事項

● 協議会の運営について

1. 協議会は、年1～2回開催することとする。
2. 協議会には、必要に応じ運営委員会委員の出席を求めるものとする。

● 運営委員会の運営について

1. 委員長は、運営委員会を招集し、その議長を務める。
2. 運営委員会は、協議会の事業計画に関する具体的事項について協議するため、適宜開催するものとする。
3. 運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

● 協議会議長並びに運営委員会委員長の任期の取り扱いについて

1. 協議会議長並びに運営委員会委員長の出身団体における任期が終了した場合、前任者の残任期間は、出身団体における後継者が、その任にあたる。

附 則

この改正事項は、平成13年4月1日から施行する。